

科 目 名	学 年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 渡部 昌弘
エンジニアリング・デザイン 演習（建設系） Engineering Design Practice	2	必 修 後期・演習・2単位	研 究 室 A棟2階（A-208） 内線電話 8981 e-mail: m.watabe@maizuru-ct.ac.jp
授業（30時間）＋自己学習（60時間）＝標準90時間の学習時間			
科目到達レベル：□1.知識・記憶 □2.理解 □3.適用 □4.分析 <input checked="" type="checkbox"/> 5.評価 □6.創造			
【授業目的】			
本講義では、様々な機能が複合した中規模以上の公共建築における建築設計について実践力を身につける。			
【Course Objectives】			
At this lecture, practice power is learned about the architectural design in the public building more than the middle-scale which various functions compounded.			
【到達目標】			
①複合建築の仕組みについて知る。			
②複合建築の設計方法を知る。			
【学習・教育到達目標】			
(C) 修得した知識を統合して、社会に貢献できる製品やシステムを設計し開発する創造的能力と意欲を有する。			
(G) 課題の提案・報告などを効果的に記述し、説明することができる。			
(I) 自分の責任を自覚し、互いに理解し協力し合い、チームの目的達成のために能力を発揮できる。			
【キーワード】		【授業時間】	
建築設計、複合建築 Architectural design, Compound construction		4時間(180分)×15週＝60時間(45時間)	
【授業方法】		【学習方法】	
公共建築の設計と製図、プレゼンテーション（中間および最終の2回）を行う。		建築図書、雑誌などに掲載された作品について十分に理解しておく。	
【履修上の注意】		【科目の位置付け】	
		1. 先行して履修すべき科目 建設計画学	
		2. 後で履修する関連科目 なし	
【定期試験の実施方法】		3. 同時に履修する関連科目 なし	
行わない。			
【成績の評価方法・評価基準】			
上記の到達目標の到達度を評価基準として、設計内容、図面、発表などを通じて、複数教員により総合的に評価する。			
【教科書・教材等】			
教科書： なし			

【参考書・参照 URL 等】

参考書： なし

【授業計画】

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
第1週	シラバス内容の説明	①	
第2週	中規模複合建築の演習課題設定	①	
第3週	配置計画	②	
第4週	平面計画①	②	
第5週	平面計画②	②	
第6週	平面計画③	②	
第7週	断面計画	②	
第8週	立面計画	②	
第9週	構法計画	②	
第10週	CAD①	②	
第11週	CAD②	②	
第12週	CAD③	②	
第13週	パワーポイント制作①	②	
第14週	パワーポイント制作②	②	
第15週	プレゼンテーションと複数の教員による講評	②	

★定期試験

定期試験返却・到達度確認

【学生へのメッセージ】

図書館にある豊富な参考書も参照すること。
また、建築の工事現場や新築物件を日々観察しておくこと。